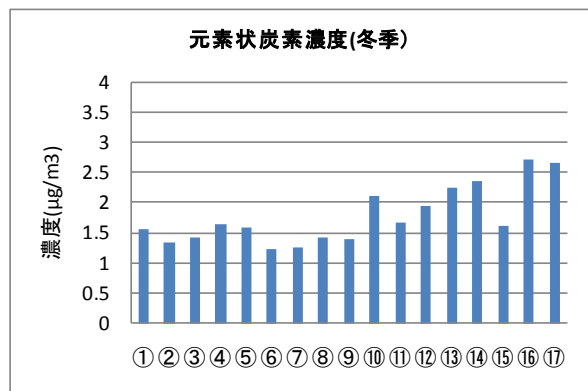
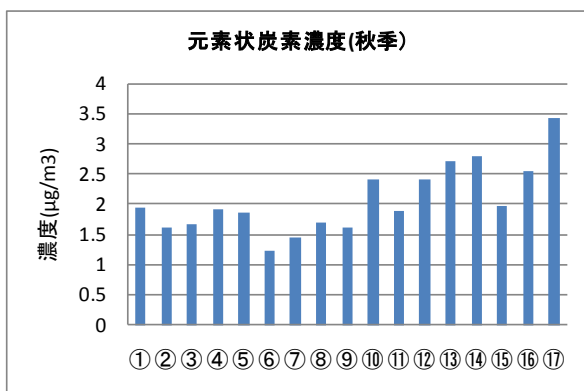
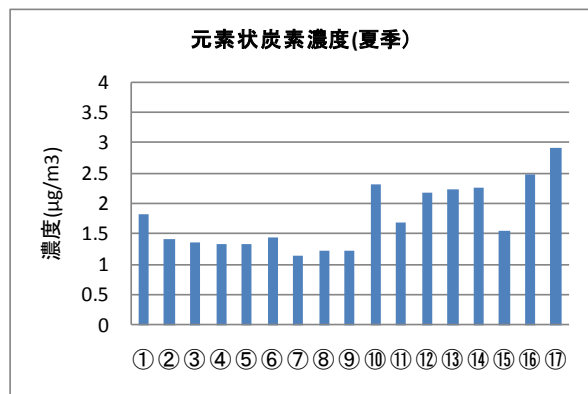
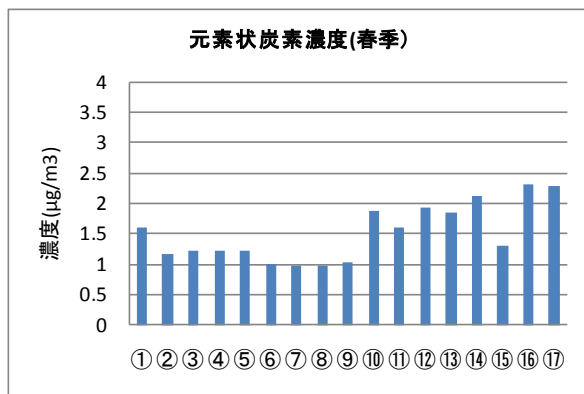
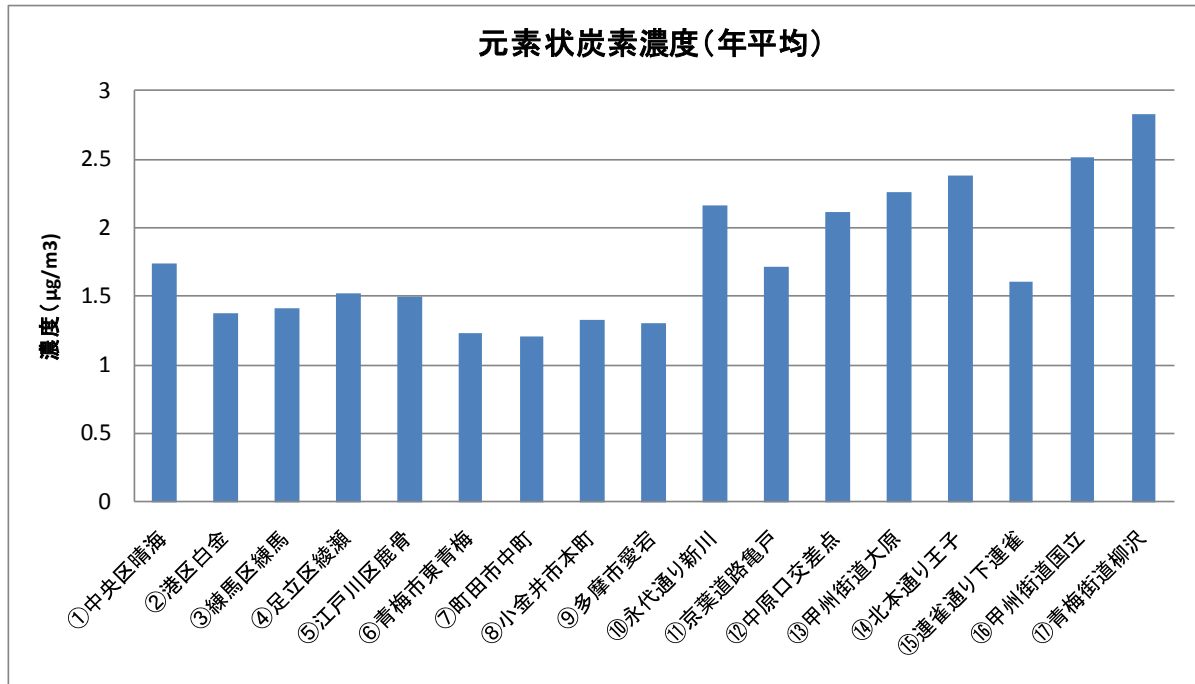


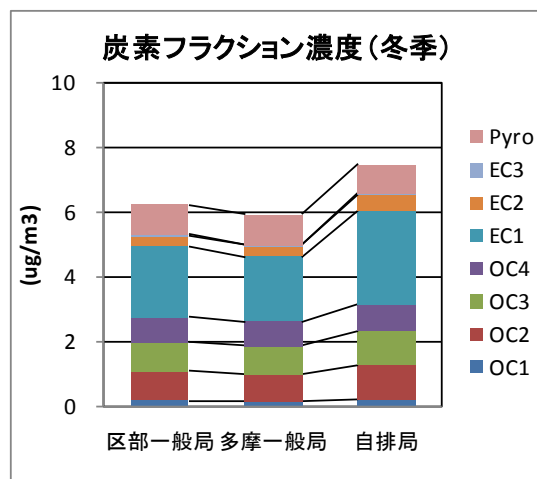
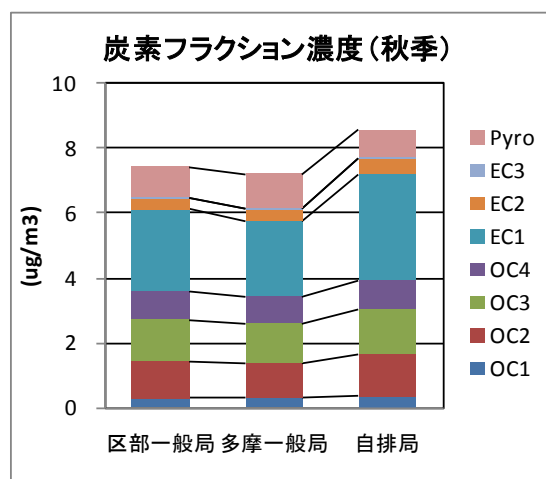
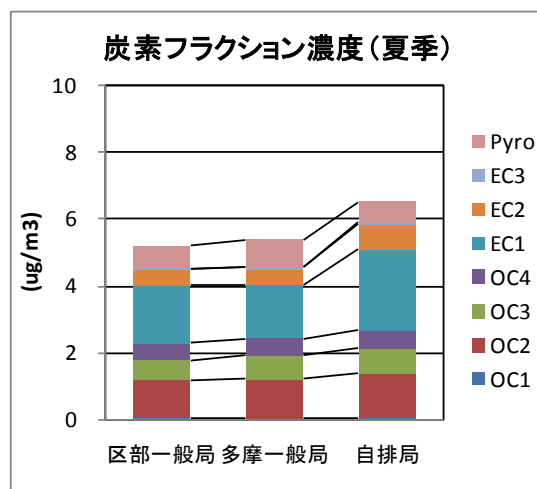
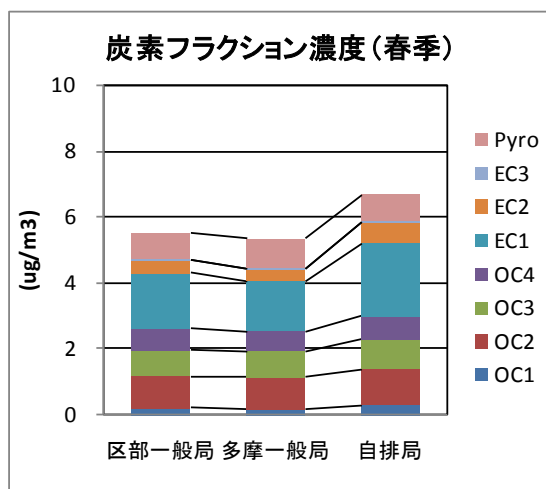
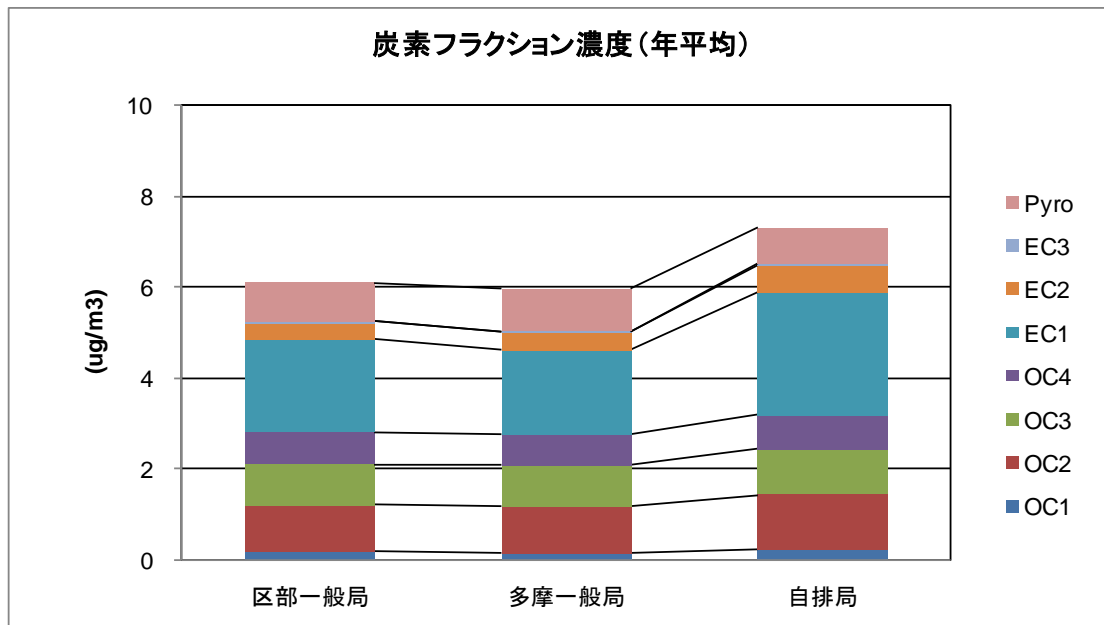
炭素フラクション

図には地点別の元素状炭素濃度を示した。年平均値、各季節とも、元素状炭素濃度は一般環境地点に比べて道路沿道地点が高い傾向を示した。道路沿道地点では、自動車の影響は大きいものと考えられる。

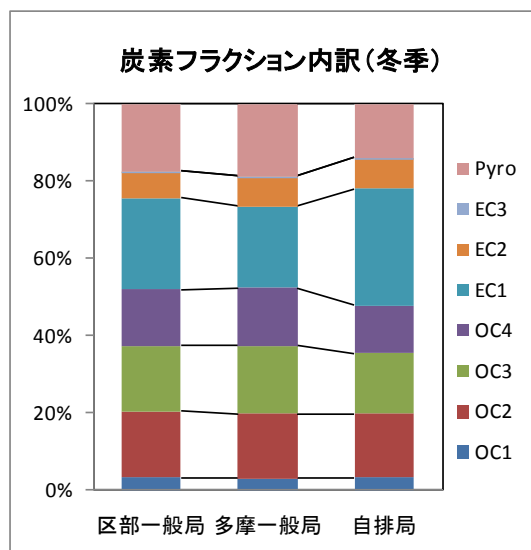
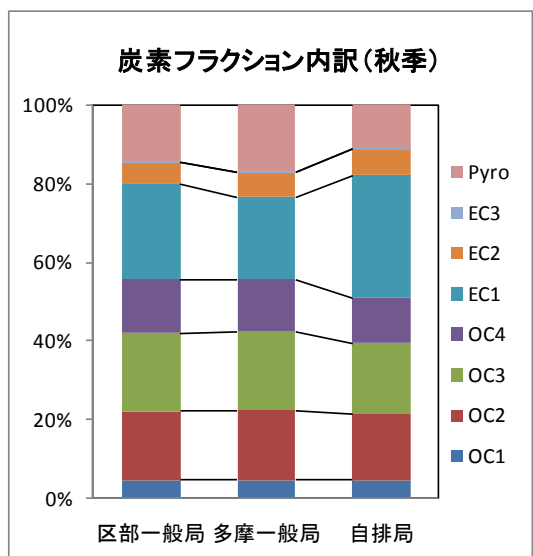
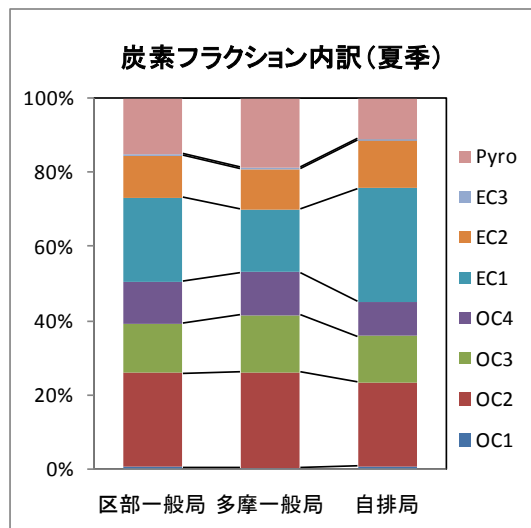
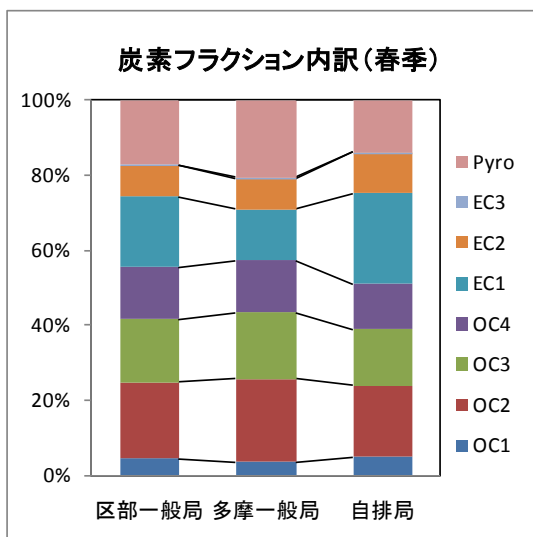
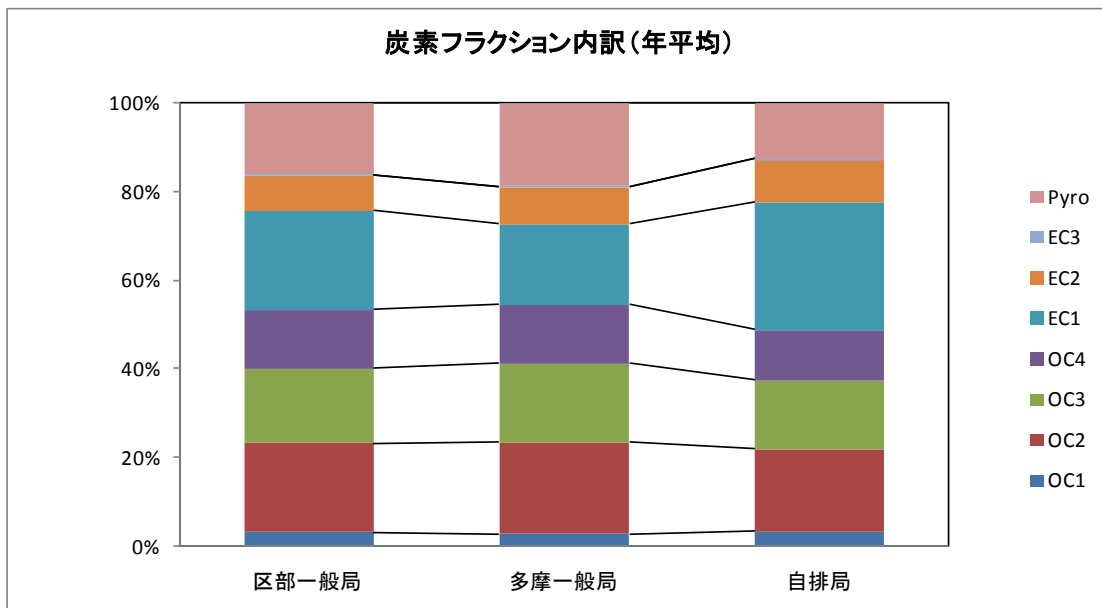


図には測定で得られた炭素フラクション濃度を示した。炭素フラクション濃度を比較すると、各フラクション濃度は道路沿道地点が高い傾向であった。しかし、Pyroについては多摩地域の一般環境地点では道路沿道地点に比較して相対的に、わずかながら高い傾向であった。

○地域別炭素フラクション濃度



○地域別炭素フラクション内訳(構成比)

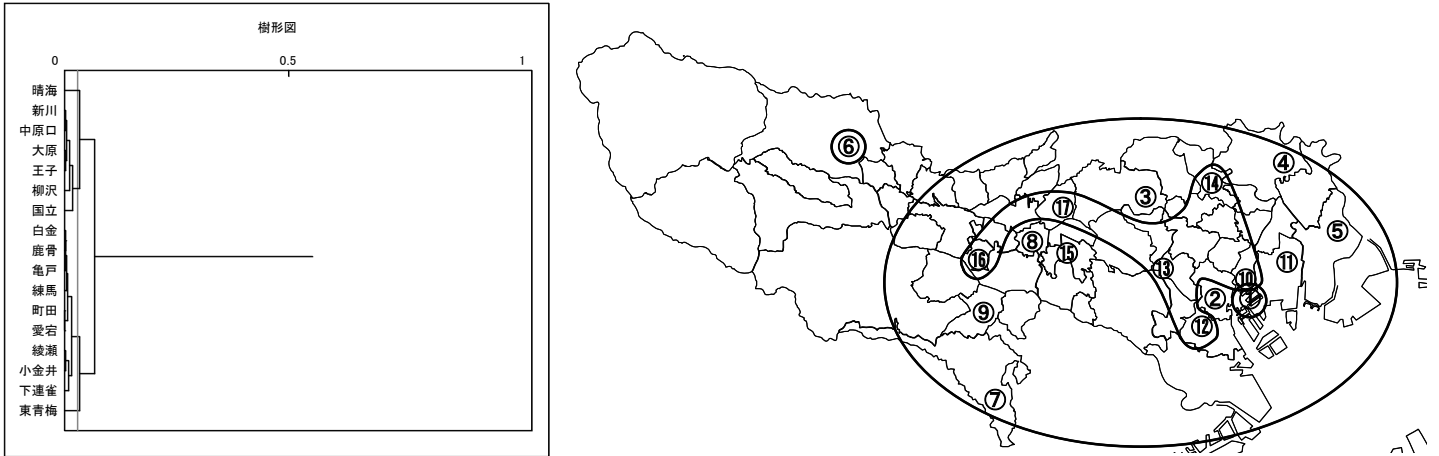


Pyro のフラクション分は EC1 の分析値(EC1)a から差し引いた。

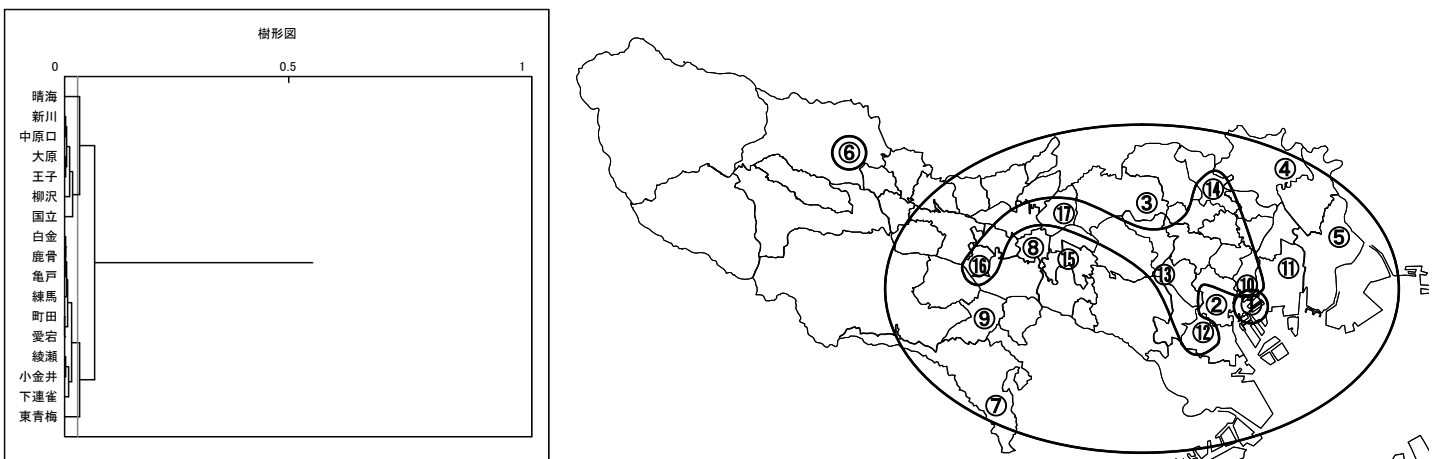
$$EC = (EC1)a + (EC2)a + (EC3)a = ((EC1)a - Pyro) + (EC2)a + (EC3)a + Pyro$$

クラスター分析 (PM2.5、成分組成による)

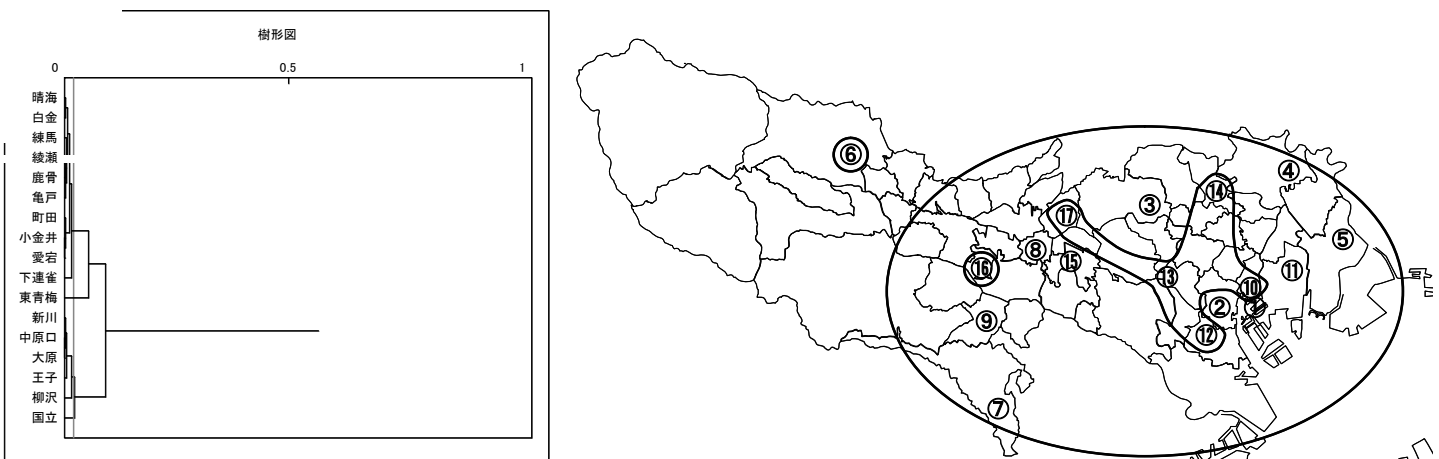
質量濃度 (全データ平均、その他あり、金属成分あり)



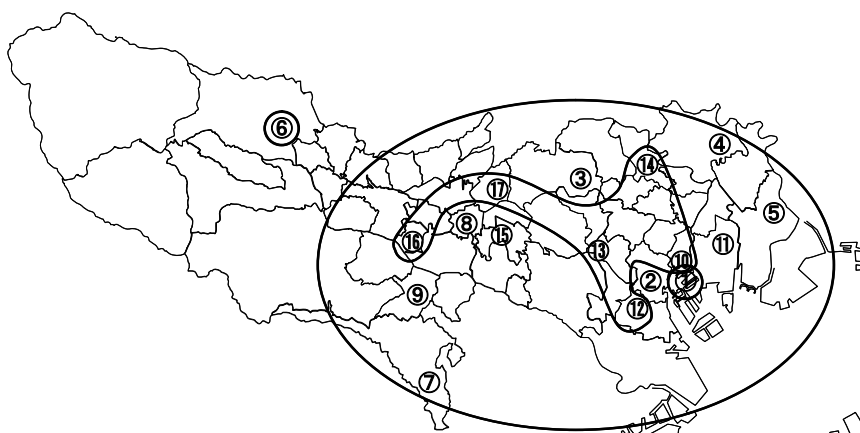
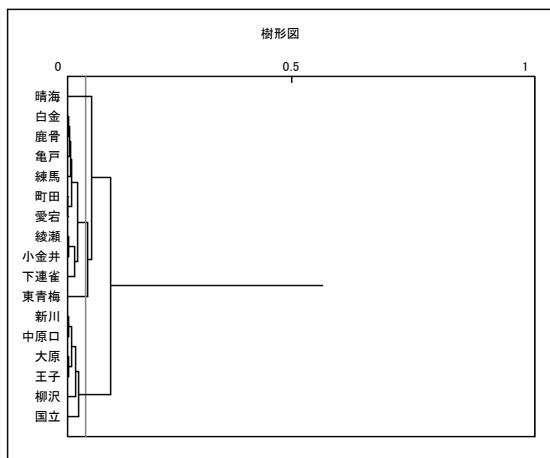
組成比 (全データ平均、その他あり、金属成分あり)



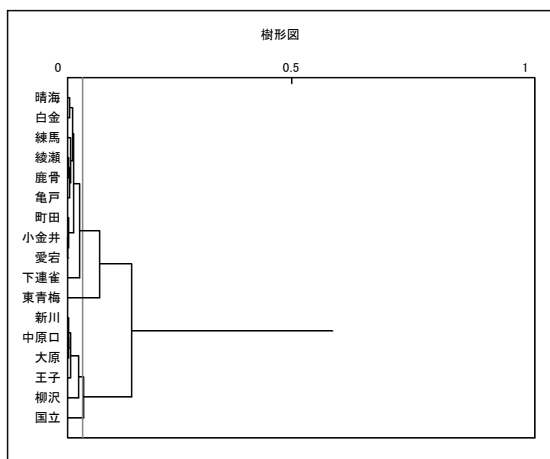
組成比 (全データ平均、その他なし、金属成分あり)



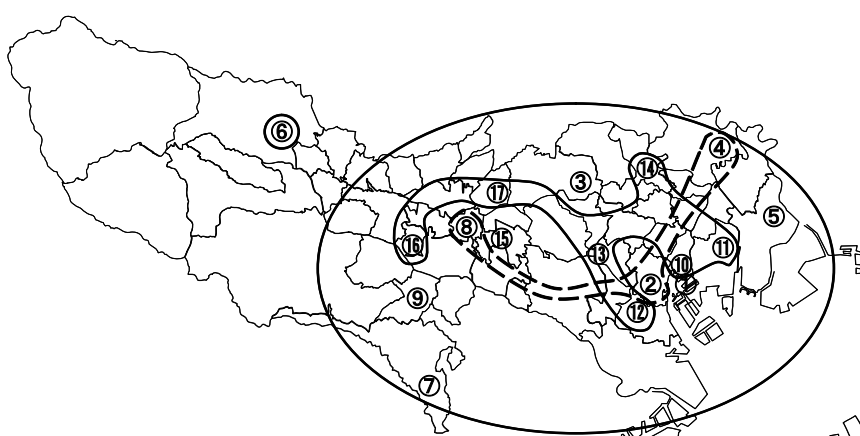
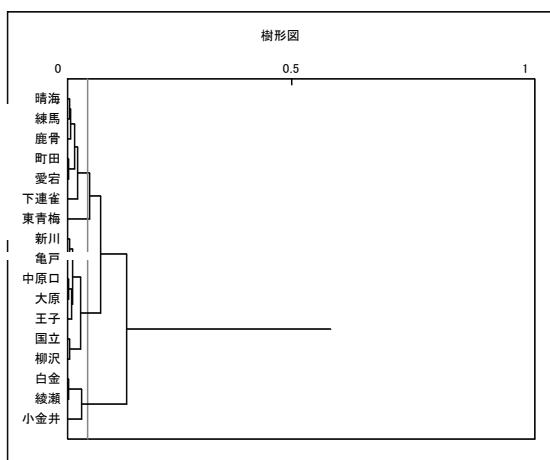
組成比（全データ平均、その他あり、金属成分なし）



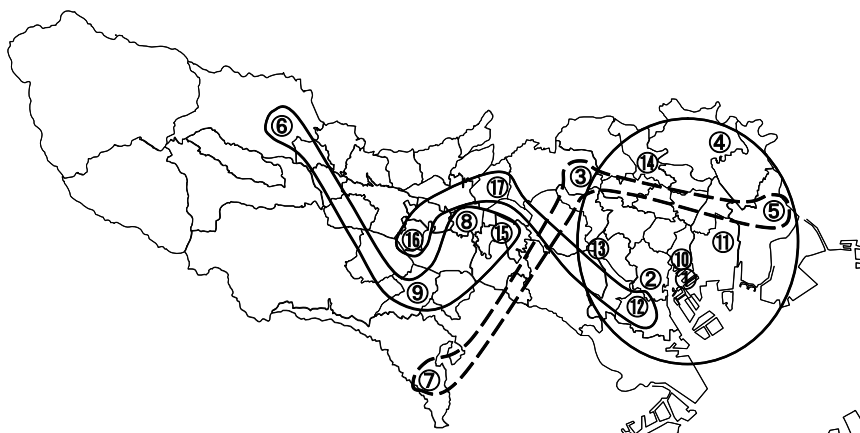
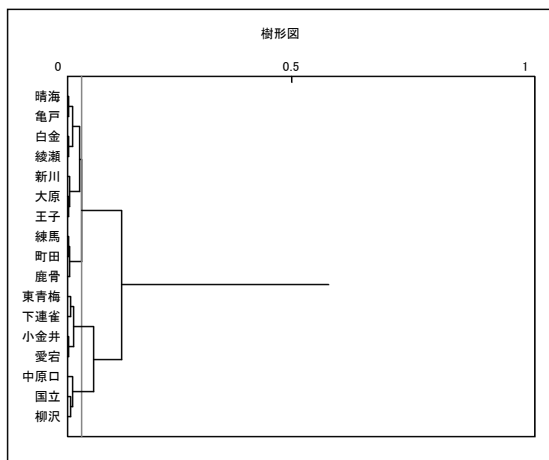
組成比（全データ平均、その他なし、金属成分なし）



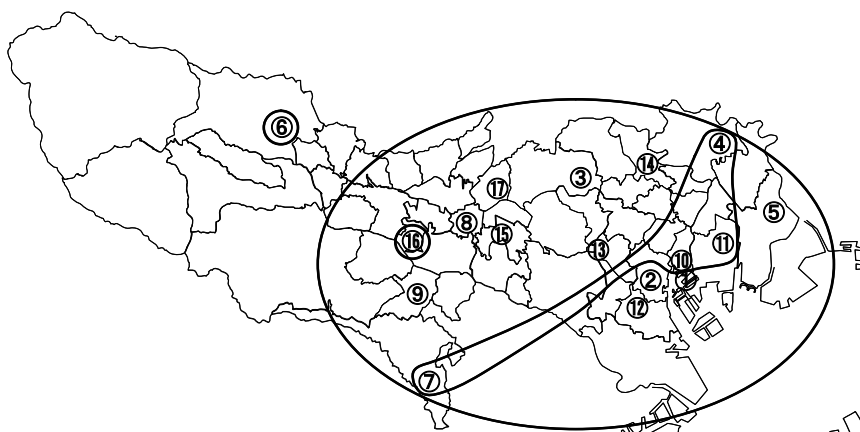
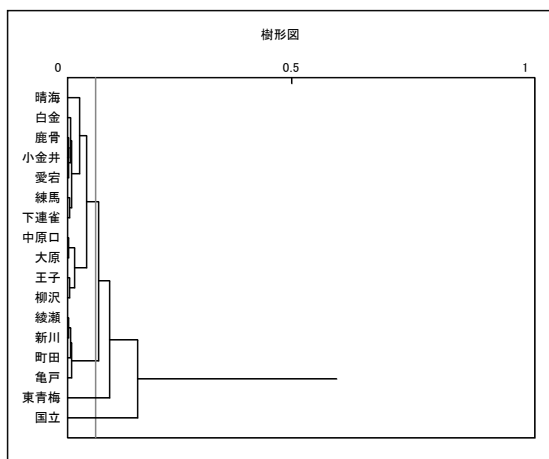
組成比（春データ平均、その他あり、金属成分あり）



組成比（夏データ平均、その他あり、金属成分あり）



組成比（秋データ平均、その他あり、金属成分あり）



組成比（冬データ平均、その他あり、金属成分あり）

